



令和7年度 三重県障がい者芸術文化祭

地域で表現活動を行う障がいのある方の活躍を広げるための文化祭です。昨年度は700点以上もの作品が集まりました。今年度は作品展を「三重県総合文化センター」、ステージ発表を「ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（鈴鹿市文化会館）」で開催します。たくさんの方からのご応募、ご参加をお待ちしております。

【作品展】

令和7年12月12日（金）10時～16時
12月13日（土）10時～16時
12月14日（日）10時～15時
（表彰式13時～）

◆会場

三重県総合文化センター 文化会館棟
（〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234）
・作品展：2階 ギャラリー
・表彰式：地下1階 小ホール

◆募集内容

応募対象：三重県内に住所を有する障がいのある方
・作品は1人1点（未発表の作品に限る）
・部門：絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸（版画・彫刻含む）、俳句、貼り絵・その他
・部門別に賞を選定し表彰します。
・作品規格は募集パンフレット参照
・共同作品コーナー（賞対象外）
・特別支援学校コーナー（公募対象外）



募集ページ
（作品展）はこちら

◆応募方法

募集パンフレットの応募用紙により、事務局へ郵送、FAXまたはメールにて応募期日内に申し込みしてください。※応募用紙はホームページからもダウンロード可能です。

◆応募期間（申込書を受け付ける期間）

令和7年9月1日（月）～9月30日（火）（必着）
三重県知事賞、三重県議会議長賞、
実行委員会賞、きらめき新人賞、奨励賞
被表彰者には賞品を贈呈いたします。

◆作品の搬入・搬出（三重県文化会館 搬入口）

搬入：令和7年12月9日（火）9時15分～16時30分
①搬出：令和7年12月14日（日）15時15分～16時45分
②搬出：令和7年12月16日（火）9時15分～12時
当日、搬入・搬出できない方は事務局へ問い合わせして下さい。

【ステージ発表】

令和8年1月31日（土）10時～16時

◆会場

ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（鈴鹿市文化会館）
（〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町810）
・ステージ発表：けやきホール
・同時開催：みえアールブリュット2026：さつきプラザ

◆ステージ発表 応募対象

個人：県内に住所を有する障がいのある方
※カラオケは不可
団体：県内に所在する、障がいのある方が出演者の半数以上を占める団体
・歌唱、楽器演奏、演劇、ダンス、パフォーマンス等
・出演時間は、準備を含め1団体30分以内
・1月30日（金）にリハーサルを行います（希望者のみ）

◆応募期間（エントリーを受け付ける期間）

随時～9月30日（火）（必着）
①募集パンフレットの応募用紙からエントリー票をFAXして下さい。
②出場者名（出場団体名）、団体の場合代表者名、参加人数（予定）、ご住所、ご連絡が取りやすい連絡先、出演内容を三重県障がい者芸術文化活動支援センターにFAX、またはメールにてお送りください。
※応募用紙はホームページからもダウンロード可能です。



募集ページ
（ステージ発表）はこちら

◆事務局（送付先・問い合わせ先）

三重県障がい者芸術文化活動支援センター内
三重県障がい者芸術文化祭実行委員会
（公益社団法人 三重県障害者団体連合会）
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182
E-mail: info@mie-asc.jp

サブタイトル募集

応募資格：三重県内に住所のある方（障がいの有無は問いません）
応募期間：随時～9月30日（火）必着
応募方法：QRコードの申込フォーム、はがき等に20字以内、住所、氏名、年齢、連絡先記入



申込フォームは
こちら

三重県障害者社会参加推進協議会団体

三重県障害者団体連合会

平素は、障がい者の活動にご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。私はこの度、令和7年度定時総会において、会長職を任命いただきました片岡福生でございます。未熟者ですが、三重県の障がい者のために精一杯頑張りますので、何卒ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

現在は、ネット社会が充実され、何事においてもネットを使って情報を知ることができます。当連合会でもホームページを充実させ、皆さんにたくさんの情報を提供したいと思います。

コロナ禍のとき、オンラインで開催されておりました「日本身体障害者福祉大会」が、令和7年度は現地で対面開催され、6月11日（水）・12日（木）に神奈川県横浜市で全国から約2,000人の方が参加されました。2025年度の活動方針を決定し、障がい者の自立と社会参加を積極的に展開、発展させ、その福祉の増進を図ることを目的に議論されました。

三重県障害者団体連合会では、令和2年に「三重県障がい者芸術文化活動支援センター」を開設し、身体表現によるイベントも含め様々な事業に取り組んでいます。14回目となる「三重県障がい者芸術文化祭」は、今年度から作品展とステージ発表を別日、別地区で開催いたします。詳細は、ホームページに掲載されていますのでぜひご覧ください。

スポーツ関係では、誰でも参加できる、グラウンドゴルフ・カローリング・ボウリングのレクリエーション教室を開催しています。交流を目的として、気軽に楽しく参加していただいております。ぜひご参加していただきますようお願いいたします。

障がいがある、ないにかかわらず、女の人も男の人も、お年寄りも若い人も、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を、送ることができる社会をつくりましょう。

会長 片岡 福生

事務局 ☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182

三重県知的障害者育成会

育成会設立70年を迎えるにあたって

知的障害者が「知恵遅れ」と言われていた昭和の時代にわが子の幸せと義務教育を願って立ち上がった親の集まりとして「手をつなぐ親の会」運動が全国に広がりました。三重県でも障害児教育の草分けであった全国24人の先生の中のお一人だった『田中実先生』が中心となって三重県にできたのが1955年12月10日だったと聞いています。

私が中学生の頃に学校に特殊学級が設立されていたのを覚えています。まさか、自分の子どもが同じように「知恵遅れ」と言われるとは思ってもよらなかったが・・・

教育から始まって就労・福祉・権利擁護へと運動は広がっていききましたが、社会も大きく変わって法的にも保護する対象であっても尊厳と権利擁護を兼ね備えた一人の人間として認められるような機運の高まりを実感できたのが『国際障害者年』でした。

未成年者の保護のためにあった後見制度が知的障害者や精神障害者・認知症の方のために「禁治産」という権利を奪う制度から切り替わって1999年法制化され、2000年に施行されました。

本人の認知能力に沿って補助・保佐・後見の3段階に分かれて代理人が選任されてお金の管理や各種法的手続き等を代行することができるようになりましたが、近年は、制度を利用しただけで自分ではない誰かの考えによって生きていくのが嫌だという声もあり、ワントイムで利用することを可能にしてとの声も出てきました。

精神薄弱という障害名を障害者本人達が「まるで意志薄弱と思われるような障害名は嫌だ」と声を上げたことを受けて、国も検討を行い『知的障害』と改正しました。

成年後見制度を使ったら、ずっと自分でない誰かの考えのもとで生きていかなきゃならないのは嫌だという声が出て、制度の利用は必要な時だけの利用も可能にとの見直しが検討されてきました。

昨年の育成会全国大会秋田大会の懇親会で本人の会の男性が聞いてほしいとって話をしてくれた内容は、まさしく今回の制度の見直しにもつながる内容でした。

成年後見制度を使う時に気の合わない人だったら嫌だな～と思っていたら法テラスなら3年ごとに交代すると聞いたので、自分の制度利用では法テラスへ頼みた



いと申し立てをした。今は、法テラスを選んでよかった
と持っているということでした。きちんと自分の意思を
伝えられる人は、こんな考えて自分の人生を考えられる
のだなぁ〜と感心したところでした。

ここまで考えられない人もいますが、自分でない人
の考えだけで、生きる世間を狭められない制度利用は
大事なことだと再確認できた出会いでした。

事務局 ☎ 059-225-3930 F AX 059-225-3935

E-mail:oyanokai@eos.ocn.ne.jp

HP <http://www.mie-ikuseikai.sakura.ne.jp>

三重県精神保健福祉会

「精神障がい者は危険であるという

漠然とした認識」!!

(平成16年3月 厚労省)

このテーマは、多くの国民の中に存在する「精神
障がい者に対する誤解・偏見」なのです。その他(身体・知的など)の障がい者にはありません。

過去に「**精神分裂病**」という病名を永く放置した
ことが、大きな原因であろうといわれています。

「突然、暴力をふるってあばれる!」「何をされるか
わからない!」

直接、話したことも、一緒に行動したこともないの
に、「精神分裂病」がどんな病気か知らない人にも、
いつの間にかイメージが形成されてしまったのです。

イギリスではブレア首相が、統合失調症(精神分裂
病)の当事者と家族に謝罪をしました。(英語でも
精神分裂を表す標記であった)

「長い間、人格を否定する病名(精神分裂病)を
放置してきた」のですが---

日本では2014年に精神分裂病→統合失調症に改
名されました。当時の政治家からは永年の人権を無
視した病名についての謝罪メッセージはありませんで
した。

そのことが「精神障がい者は危険であるという漠
然とした認識」温存の最大の原因だろうと推定され
ます。

そして、現在でも精神障がい者だけが特別視(差
別)される温床となっているのでしょう。

「医療機関から受診を断られる」

「ツアーから排除される」

---統合失調症の人とは飛行機に乗れない!

「アパートの入居を断られる」

「不審者扱いされて通報される」

「小さな落書き」で逮捕され2日間も留置される

「小学校の隣にグループホームを建てようとした
ら自治会に反対される」

「医療費の公的助成が、他障がい(身体、知
的)より格段に遅れている」

精神障がい者に対する行政の施策が、身体や知
的に比べて2歩も3歩も遅れている現実はこの「危
険であるという漠然とした認識」が多くの県民に存
在しているからです。

私たち家族会は、「行政」がこのことに正面から向
き合わない中で、県民一人一人に、精神障がい者と
交流して、どんな障がい(病気)なのか、正しい理
解を深めてもらう活動をするにしました。

毎年、精神保健福祉研修会を開催して、当事者
と交流してもらうことを通じて本当は親切で優しい人
たちであることを五感で感じていただいています。

去年は桑名市の「柿安シティホール」で桑員地区
の皆さんに呼び掛けて開催しました。

今年も鈴鹿市で開催を予定しており、鈴鹿市・亀
山市の皆さんを中心に呼びかけをしています。

開催日は10月23日(木)、会場は鈴鹿市文化会
館けやきホールです。当日は精神障がいの当事者が
100人以上参加します。

交流することで今までのイメージを大きく変えるこ
とができます。

昨年、参加された市民や民生委員の皆さんが感想
を述べておられます。

「初めて、イベントに参加した。何人かの人と話
ができた」

「普通の人となんらかわらない。むしろ、やさ
しい感じがした」

「特別な人でないことが分かった」

「舞台での事業所紹介も元気があってよかった」

「バザーブースでも普通に役割を果たしていた」

「これからの地域での活動で、気軽に声をかけ
られる」

このように参加された方は、「精神障がい者も普通
の人と変わらない」というイメージ、あるいはそこに
一歩近づいたイメージを、お持ちいただいたと思
います。

私たち三重県精神保健福祉会(家族会)は、これ
からも精神障がい者・精神疾患に対する誤解・偏見
をなくすために、あらゆる機会を通じて「当事者との
交流」を呼び掛けていきたいと考えています。

お近くに、障がい者の施設がありましたら、気軽
に訪ねていただいて、当事者と交流してください。

私たち家族会は、地域で障がい者との交流を積み

重ねることが、誤解・偏見・差別の解消につながると確信しています。

NPO法人 三重県精神保健福祉会(さんかれん)
理事長 山本武之
事務局 ☎・FAX 059-271-5808
E-mail:sankaren@mint.or.jp

三重県視覚障害者協会

本協会は、県内の視覚に障がいのある会員の方々と構成されており、協会本部事業のほか、県の施設である三重県視覚障害者支援センター（以下「支援センター」と表記）の指定管理者として、県内の視覚障がい者の皆様にご利用いただける施設として管理運営を行っています。

視覚障がい者の自立と社会参加の促進を図っていくため、視覚障がい者の情報保障やデジタル化への対応、道路や鉄道のバリアフリー化による外出保障、就労などの諸問題について、社会へアピールしていくことが必要です。当協会では、今年度も10月15日の「国際白杖の日」には、県内数カ所において街頭啓発活動を行う予定です。

令和6年度は、視覚障がい者の皆様が毎年楽しみにしていただいている地域レクリエーション活動も積極的にいき、多くのボランティアの支援を受けながら、グランドゴルフやボウリング教室のほか、ハイキングなど計画どおり事業を進めることができました。

支援センターの事業については、12項目の数値目標を設定しています。令和6年度は、12項目の目標の内、支援センター等で活動いただく「点訳奉仕員養成講習（初級）修了者数」、「奉仕員（ボランティア）スキルアップ講習会出席者数」の2項目が未達成でしたが、それ以外の10項目の目標を達成することができました。

センター事業の実施については、支援センター利用者をはじめ、ボランティアの方々や、関係していただいた皆様のご理解、ご協力によるものと深く感謝しております。

各項目の目標内容、目標値、実績値は以下のとおりです。

- (1) 図書貸出タイトル数
目標82,000タイトル、実績111,747タイトル
- (2) 生活訓練参加者数
目標580人、実績592人
- (3) 図書の新規製作編集タイトル数
目標300タイトル、実績321タイトル

- (4) 図書日より発行回数
目標6回、実績12回
- (5) 点訳奉仕員養成講習（初級）開催日数
目標5日（回）、実績6日（回）
- (6) 点訳奉仕員養成講習（初級）修了者数
目標20人程度、実績16人
- (7) 点訳奉仕員養成講習（中級）開催日数
目標20日（回）、実績20日（回）
- (8) 音訳奉仕員養成講座開催日数
目標40日（回）、実績40日（回）
- (9) 音訳奉仕員養成（初級）講座修了者数
目標20人程度、実績19人
- (10) 奉仕員スキルアップ講習会出席者数
目標330人、実績196人
- (11) 県政だよりみえ点訳版・録音版発行回数
目標12回、実績12回
- (12) みえ県議会だより点訳版・録音版発行回数
目標7回、実績7回

引き続き、県内の視覚障がい者を取り巻く新たな社会環境を十分に認識したうえで、支援センター利用者の満足度を高めるため、管理・運営及び事業の推進に注力してまいりますので、一層のご理解、ご支援等よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会
三重県視覚障害者支援センター
〒514-0003 津市桜橋二丁目130番地
☎ 059-228-3463 FAX 059-228-8425
HP <http://www.mieten.jp>



三重県聴覚障害者協会

「三重県聴覚障害者協会」として1947年の創立以来、今年度で創立79年目を迎えます。数々の苦難を乗り越え、聴覚障害者当事者団体として78年の長きに渡り運動と事業を担いながら活動を続けてまいりました。

特筆すべきは、当協会会長の深川誠子が2024年度の一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会にて理事に再度立候補し、見事に2期連続当選を果たしたことです。三重の代表として、全国でも活躍しているように応援していくつもりです。

ろう者のオリンピックともいえるデフリンピックを県民の方々に知ってもらうために広報活動を実施しまし

た。がんばっている人のために「あきらめない！一緒に」という応援手話ソングを各所で披露してまいりました。これは、デフリンピックに出場する三重選手を応援したいという一念からです。

当協会の正会員数は291名となり、2023年度の300名と比べて減少しました。それに対し、賛助会員数は181名で昨年度より30名増加です。この現状に対しては、嬉しいような悲しいような複雑な胸中です。

会員を年代ごとに分けてみますと高齢化の傾向がうかがえます。39歳未満は55名（18.9%）、40～64歳は108名（37.1%）、65歳以上128名（44.0%）。

会員の約44%を65歳以上の高齢者が占めるということは、3～4人に1人が65歳以上という「本格的な高齢化」になっています。日聴紙の長寿番付一覧表に90歳以上の当協会員を掲載できたことは喜ばしい限りですが、高齢聴覚障害者は毎年増加し続けている現状ですから、役員選出に悩んでいる地域協会や、役員任期期間が長引いている高齢者たちも増えています。若者は増えず、役員のなり手不足や生活多様化に対する深刻な問題も起こっています。さまざまな課題に対し、関係団体の皆さまとともに、諦めずに立ち向かっていきたいと思っています。

県内事業として5月19日の「福祉大会」はデフリンピックの元競技選手や候補選手のオンパレードで盛り上がりました。8月4日の「単発事業」では学校の時間割のように手話の技術や芸術の楽しさや合気道の体験を学習できました。11月10日の「みみフェスティバル2024」は課外で多くのブースが開放的でふらっと立ち寄れる雰囲気を楽しめました。11月17～18日の「長野コース1泊2日旅行」は遊覧船で恵那峡の自然の景観、そば打ち体験などの2日間の観光を楽しめました。2月2日の「手話フェスティバル」は「ぼくが生きてる、ふたつの世界」の映画鑑賞、監督の呉美保さんとトークショーはあっという間に時間がすぎました。

東海レベルの事業として「東海体育大会」「東海大会」を三重で開催し、成功を収めることができました。運転免許センターでの手話通訳付き講習は2024年7月26日（金）、2025年1月26日（土）に年度2回特例講習会として設けることができました。

協会結成78年の歴史と伝統を守ると共に、我々の経験を確実に後世に引き継ぐ事が重要ではないかと考えています。

依然、様々な壁はありますが、これからも関係団体の皆さまとともに決して諦めず立ち向かって活動し

ていく所存です。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330

E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

HP <https://www.deafmie.com>

三重県知的障害者福祉協会

常日頃は、当福祉協会の運営に対しまして、ご指導、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和7年度、当会の会員数は、42法人（社会福祉法人39か所、NPO法人2か所、市立1か所、事業所数としては、143事業です。

今年度も、3委員会と6部会で、さらに職員の質の向上等を目指して事業に取り組んで参ります。

【主な事業の内容】

1. 研修委員会
 - ①新任職員研修
 - ②職員交流研修
 - ③虐待防止等の課題別研修等の開催
2. 利用者交流等事業
 - ①音楽を楽しむ会
 - ②ふれあいボッチャ大会
 - ③職員交流ボッチャ大会
 - ④三重県主催の各障がい者スポーツ大会へスタッフとしての協力
3. 制度政策研究委員会
 - ①3年後の報酬改定及び制度改正に向けての政策提言等の取りまとめ
4. 児童発達・日中活動・生産活動就労支援・地域支援・障害者施設支援・相談支援の各部会では、日本知的障害者福祉協会並びに東海地区会と連携し、研修会の開催や各施設・事業所に必要な情報を配信していく

以上の事業を中心に進めて参りますので、引き続き、各関係団体の皆様のご指導、ご支援よろしくお願い申し上げます。

会長 山野 文照

事務局 ☎ 059-268-1115（まもり苑・本弘）

三重喉友会

「三重喉友会」は、喉頭がん、食道がん等で声を失った方々が組織する団体です。

当会は創立70年目になります。声を失った方々が互いに助け合い発声訓練を通して、コミュニケーションに必要な新たな声を与えられ、日常会話が出来るようになり、社会復帰と会員相互の親睦・交流を図っ

ています。

喉頭摘出という試練を乗り越え活動し、前向きに進み行こうとしています。

このような患者会は全国にあって、NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

又、医学の進歩も著しく放射線や抗がん剤治療により、手術される方も減少しております。

●発声教室

今年の発声教室は2か所で開校しています。

・中勢地区

三重大学病院 外来棟5階会議室

毎月第3木曜日 10時～12時
インターネット (ZOOM) による教室

・南勢地区

伊勢赤十字病院 5階会議室

第2木曜日 10時～12時

●研修会

・発声指導員養成のための研修会が、毎年10月に三日間行われ一般会員の方も参加できます。

・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

●総会 (発声教室、研修会)

発声訓練の成果として「発声コンクール」を行います。

●一泊研修旅行 未定

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール (カラオケ大会) を行います。

●三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。

※発声の事や健康相談等連絡下さい。

事務局 ☎ 090-1474-7858 (松井 直之)

Eメール n-matsui@ma.mctv.ne.jp

三重喉友会会長 塚本明雄 ☎ 090-3511-0350

三重県肢体不自由児者父母の会連合会

◎令和6年度主な事業実績

① 東海北陸ブロック三重大会

・期 日：6月8日 (土)～9日 (日)

・場 所：志摩市 グランドメルキュール
伊勢志摩リゾート

・テーマ：住み慣れた地域で一人ひとりが自分らしく生きること、親として準備しておくこと

② 障がい者の明るいくらし研修会

・期 日：3月8日 (土) 10:00～14:30

・場 所：松阪市 福祉会館

・テーマ：親子の高齢化への備え

☆講 師：山崎 慎一郎氏

◎令和7年度主な事業計画

① 東海北陸ブロック岐阜大会

・期 日：6月7日 (土)～8日 (日)

・場 所：岐阜県大垣市

・テーマ：住み慣れた地域で一人ひとりが自分らしく生きること、親として準備しておくこと

② 障がい者の明るいくらし：バス旅行

・期 日：10月～11月予定

・場 所：愛知県内

☆コロナにより長い間、行動を制限されたことや保護者・障がい者の高齢化により各種行事への参加者が減少傾向にありますが、従来通り多数のご参加をお願いします。

◇当会の活動等、詳しく知りたい方は下記へ

県肢連会長 鈴木錠平 ☎・FAX 059-333-0005

三重県脊髄損傷者協会



スロープが付いて車いすで乗れる片山技研(相模原市)の「コアラバイク」

コアラバイクで車いすリレーマラソン完走のご報告

5月28日 (水)、三重県津市の「津なぎさまち」を出発し、石川県羽咋市の「千里浜なぎさドライブウェイ」まで、車いすドライバー11人によるリレーマラソンを実施しました。総走行距離は約330km。朝

日が昇る午前5時にスタートし、三重・岐阜・滋賀・福井・石川の各県を経由しながら、午後6時には無事ゴールに到着しました。

1人あたりの走行距離は約30km。道路の状況によっては車体が振られ、ハンドル操作が難しくなる場面もありましたが、参加者は力強く走り抜けました。高速道路では最高速度80km/hでの走行にも挑戦し、まさに「本気のリレー」となりました。

また、途中の道の駅では「SSTR2025」に参加し

ていたライダーの皆さんから声をかけていただき、一体感を感じられる瞬間もありました。イベントに参加している実感が湧き、励みになったとの声も上がりました。



中日新聞に掲載:夕日を背に、
コアバイクでの完走を喜ぶ
参加者ら

参加者の年齢は41歳から72歳と幅広く、それぞれが自分のペースで走行を楽しんでいました。走り終えた後には「もっと走りたい!」という声が多く聞かれ、今回のチャレンジが充実した経験となったことを物語っていました。

初めての挑戦ではありましたが、天候にも恵まれ、多くのサポーターの方々の支えにより、無事完走することができました。

会長 ☎ 059-386-9733 (松田)

三重難病連

三重難病連は現在21(2団体活動休止)の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

● 疾患別相談 (毎週火・木曜 10時～16時)

三重難病連に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩みや、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問合せ、またはホームページでご確認下さい。

● 地域難病相談会 (時間は全て 13時～15時)

地域の医師会やハローワーク、患者会、保健所と協力して、生活相談や医療相談、就労相談等をお受けします。参加無料、要・事前申込。

7月 6日(日) 四日市地域難病相談会 四日市文化会館

9月 21日(日) 津地域難病相談会 三重県津庁舎

10月 5日(日) 松阪地域難病相談会 三重県松阪庁舎

11月 9日(日) 熊野地域難病相談会 三重県熊野庁舎

● 就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。

(☎ 059-223-5045)

● 小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関するの困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。

(☎ 059-223-5046)

【三重県難病相談支援センター】☎ 059-223-5035

<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重県身体障害者総合福祉センター

指定管理者として、「障害者支援施設」と「身体障害者福祉センターA型」を運営しています。

障害者支援施設(生活援助棟)では、身体に障がいがある方、高次脳機能障がいがある方や難病の方に対して、障害福祉サービスを提供しています。交通事故やご病気で入院されていた方が退院し、社会生活を行う上で継続したリハビリテーションが必要な方や、就労や自動車の運転などを行い、社会復帰を目指す方への支援を行っています。ご利用の相談や高次脳機能障がいに関するの困りごと・お悩みについては、担当の相談員がご相談をお受けしています。【☎ 059-231-0037】

身体障害者福祉センターA型では、医療保険・介護保険によるリハビリテーションの実施、障がい者スポーツの推進などを行っています。医療保険・介護保険によるリハビリテーションをご希望の方は、お気軽にご連絡ください。また、年に1回開催の福祉用具フォーラムでは、様々な福祉用具を展示し、体験していただくこともできます。

障がい者スポーツにつきましては、今年は滋賀県で開催される第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」に向けた選手の派遣準備や障がい者スポーツを支える人材育成として競技役員・指導員の養成や競技団体への支援等を行っています。

また、三重県が開設した三重県障がい者スポーツ支援センターの運営を行っており、障がい者スポーツに関する情報提供、アドバイスや障がい者スポーツを支援したい企業等と選手・競技団体等とのコーディネーター業務を行っています。理学療法士による相談会では、(一社)三重県理学療法士会にご協力いただき、ご自身でできるストレッチや運動、スポーツ活動をしている中での悩み等について、個々の相談に応じたアドバイスを行っています。障がい者スポーツを始めたい方や障がい者スポーツを応援したいという方はご連絡ください。

今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター
☎ 059-231-0155 (代表) FAX 059-231-0356

HP：<https://www.mie-reha.jp/>

三重県立特別支援学校長会

令和6年3月、県内の教育を振興するための基本施策を示す「三重県教育ビジョン」が策定されました。同ビジョンは、今年度から令和9年度までの4年間に於ける本県の教育の方向性が示されており、6つの基本施策の一つとして「特別支援教育の推進」が位置づけられています。ここには、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築を根底に据えた、取り組むべき本県の特別支援教育の基本的な考え方が示されています。

三重県立特別支援学校長会では、同ビジョンの理念のもと、障がいのある子どもたち一人ひとりに応じた切れ目のない教育と支援の充実、卒業後への展望を視野に入れた自立と社会参画に向けたキャリア教育の推進に取り組んでいきたいと考えております。

各特別支援学校では、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校と連携・協力しながら、子どもたちが適切な教育と支援が受けられるよう、地域においてセンター的な役割を果たすとともに、労働・福祉・医療等の関係機関と緊密な連携を図ることで、子どもたちの進路希望の実現につながるキャリア教育を推進します。

また、障がい種や地域性など各特別支援学校の実情をふまえて、「施設・設備の老朽化」「児童生徒数増による教室不足・狭隘化」「防災上の安全確保」「通学区域の変更」など、特に教育環境に関わる課題の解決に向けて、三重県教育委員会と協働して取組を進めます。

さらに、学校における不祥事については、根絶するために実効性あるコンプライアンス研修等により教職員一人ひとりの意識を高めるとともに、命を大切にする教育や人権教育、いじめ防止等への取組も進めつつ、子どもたちの状況に応じた指導・支援が行えるよう、教職員の専門性の向上に努めます。

これらの取組を進めるにあたって、何よりも大切なのは、子どもたちや保護者の想いに寄り添い、力を合わせてともに歩んでいくことであり、そのためには各関係団体・機関の皆様との連携・協力が不可欠です。子どもたちが将来にわたって、地域の中で豊かに自分らしく生きていけることを目指して取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜いますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県立特別支援学校西日野にじ学園
☎ 059-322-2558（早津 俊一）

独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

三重障害者職業センター

- ① 一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適応するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。
- ② 事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。
- ③ 障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津3階）
☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

高齢・障害者業務課

- ① 事業主の方に対しては、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告申請書・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。
- ② 障害者雇用への理解を広げるため、三重県・三重労働局の共催のもと「三重県障害者技能競技大会（アビリンピックみえ）」を開催しています。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津2階）
☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270

三重県ボランティア連絡協議会

平素は当会の活動にご理解ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

芸術文化祭等を介して交流させて頂き、ボランティアとしての活動においても「受ける側、提供する側」についても学ばせていただいております。色々な場面で活動者の高齢化をよく聞きますが自分を前に向けて進む、時には厳しく時には甘く、人一人として障害の有無にかかわらず、国籍の違いにとらわれる事のないフラットな皆さんとのお付き合いを望んでおりますので、これからもよろしく願いいたします。

当会にご存知の様に能登半島地震に於いて発災以降、輪島ボランティアと連携して「よりそう、つながる」を掲げて何度も支援にいらしていますが、平時からの取り組み、つながりの重要性を身をもって感じているところです。

令和7年度 代議員会を5月18日(日)に開催しました。

三重県社会福祉協議会 井村会長から来賓祝辞を頂戴し、議案審議も皆さんの賛同のもと今年度のスタートをさせていただきます。

今後ともよろしく願いいたします。

会長 川瀬みち代

事務局：三重県ボランティアセンター

☎ 059-229-6634

い者芸術文化祭と1月に視覚障害者日常生活用具等展示会会場での相談会を行うとともに、逐次伊勢市での街頭啓発活動を行います。

また、各地の小中学校や高校での福祉教室に出前講座も年間15回ほど行います。

活動に関心のある方のボランティアとしての参加を歓迎します。

【お問合せ】協会事務局 ☎ 059-222-8419

E-mail: tomiogwa@yahoo.co.jp



三重補助犬普及協会

本会は身体障害者補助犬法の理念をもとに、補助犬が市民社会で正しく認識され、補助犬を使用する身体障害者の社会参加と当事者の自立を促進させることを目的に啓発活動を展開しています。

本年度は、8月に津市で介助犬の相談会、10月に補助犬使用者のスキルアップ講習会、12月に県障が

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭 (ながさきピース文化祭2025)

令和7年9月14日(日)～令和7年11月30日(日)

国民文化祭は日本最大の文化の祭典で、昭和61(1986)年に開催されて以降、毎年各県持ち回りで行われ、さらに平成29(2017)年からは全国障害者芸術・文化祭と一体的に開催されています。

令和7年度障がい者社会参加促進等事業

○三重県障害者社会参加推進センター 委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	
	障がい者相談員等研修
	身体障害者補助犬育成等事業
	声の「ふれあい」発行事業
	身体障がい者交流レクリエーション教室
	カローリング教室
	ボウリング教室
	グラウンドゴルフ教室
	ふれあい交流会(体験発表等)
	未婚障がい者出逢い支援事業
視覚障害者協会	
	視覚障がい者交流レクリエーション教室
	グラウンドゴルフ教室
	ボウリング教室

団体名	事業名
視覚障害者協会	
	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	フロアバレーボール東海ブロック大会
聴覚障害者協会	
	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	東海聴覚障害者体育大会
	全国ろうあ者体育大会
	東京2025デフリンピック
肢体不自由児(者)父母の会	
	肢体不自由児(者)体験学習交流会開催事業
脊髄損傷者協会	
	脊髄損傷者理解促進事業
喉友会	
	音声機能障がい者発声訓練事業
	音声機能障がい者発声訓練指導者養成事業

団体名	事業名
知的障害者育成会	
	知的障がい者交流レクリエーション事業
精神保健福祉会	
	精神障がい者理解促進啓発事業
難病連	
	難病による障がい者理解促進事業
○三重県障がい者芸術文化活動支援センター委託事業	
障害者団体連合会	
	障がい者芸術文化活動普及支援事業



～あなたも参加しませんか～

移手段として大切な車の安全運転、ルール・マナーを習得し、日常生活の中で習慣づけるように努める、自動車安全運転競技会を開催

日時：令和7年9月28日(日)開会10時

場所：三重県中央自動車学校(津市高茶屋4丁目48番8号)

対象：障がい者で運転免許証所持者

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしく願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
お問い合わせ：電話(フリーダイヤル)

0120-263-323

令和7年度 三重県障がい福祉課 主な事業概要

1 障がい福祉総務費

障害者基本法に基づく三重県障害者施策推進協議会や障害者総合支援法に基づく三重県障害者自立支援協議会の開催を通じて、「みえ障がい者共生社会づくりプランー2024年度～2026年度ー」の進捗状況を確認し、障がい者施策を適切に推進します。

2 障がい者の地域移行受け皿整備事業

障がい児・者の地域生活を支援するため、グループホームや重度障がい児・者対象の通所施設等の整備に取り組みます。

3 障がい者就労支援事業

福祉事業所における工賃等の向上を図るため、経営コンサルタント等の専門家を派遣するなど、福祉事業所の経営改善を支援します。また、福祉事業所の受注の仲介、販路開拓等を行う共同受注窓口に対し、発注の新規開拓等に取り組むコーディネーターを配置するなど、運営を支援します。

4 医療的ケアが必要な障がい児・者の受け皿整備事業

医療的ケアが必要な障がい児・者とその家族が地域で安心して生活できるよう、「三重県医療的ケア児・者相談支援センター」を中心に、当事者や保護者等からの相談対応、支援者への支援、医療的ケア児・者コーディネーターの養成、障害福祉サービス事業所職員や保育所等の看護師等を対象とした研修を実施するとともに、各地域ネットワークの活動支援や相互連携、重症心身障がい児・者を受け入れる病院との連携など、医療的ケア児・者への支援体制を強化し、地域での受け皿整備を進めます。

5 障害者介護給付費負担金

障害者総合支援法に基づき、市町が支出する介護給付費の一部を負担します。また、障害福祉サービス事業所等におけるロボット等の導入やICT導入に対する支援、福祉・介護職員等の処遇改善や職場環境の改善に対する支援に取り組みます。

6 障がい者相談支援体制強化事業

各障害保健福祉圏域において就労に伴う生活に係る相談支援事業を実施するとともに、県内全域を対象とした自閉症・発達障がい、高次脳機能障がいに

関する専門性の高い相談支援事業を行います。また、障害者支援施設等における強度行動障がいの対応が難しい事案について、専門性を有する「広域的支援人材」が施設等を集中的に訪問してコンサルテーションを実施することで、適切に支援できる人材を育成し、現場の支援力向上を図ります。

7 人材育成支援事業

障がい者の地域生活を支える人材を育成するとともに、障害福祉サービス等の質の向上を図るため、「三重県障がい福祉従事者人材育成ビジョン」に基づき、相談支援従事者研修やサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修、障害者ピアサポート研修等の各種研修事業を実施します。また、令和6年度の報酬改定において高次脳機能障がいに関する研修受講を要件とする加算が創設されたため、新たに高次脳機能障害支援養成研修を実施します。

8 障がい者権利擁護推進事業

障がいを理由とする差別の解消のため、相談員による相談対応や普及啓発等に取り組むとともに、事業者の合理的配慮の提供についてアウトリーチによる積極的な周知・啓発を行います。また、研修の実施や専門家チームの活用により、障がい者の虐待防止や対応力の向上を図ります。さらに、「手話施策推進計画」に基づき手話施策を推進します。

9 障がい者芸術文化活動支援事業

芸術文化活動を通じた障がい者の社会参加を促進するため、「三重県障がい者芸術文化活動支援センター」において、障がい者や支援者に対する相談支援や研修会を開催するほか、「三重県障がい者芸術文化祭」等県内で芸術文化活動を行う障がい者が作品を発表する展覧会を開催します。

10 障がい者スポーツ推進事業

「三重県障がい者スポーツ支援センター」において、障がい者をはじめとする県民等からの相談へのワンストップでの対応や、SNS等を通じた情報発信、障がい者スポーツ団体と企業等とのマッチングを進めます。また、選手の発掘に向けた初心者講習会や指導員の養成研修の実施、競技団体の遠征費の補助等を行います。

第27回

日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会

日時 令和7年11月5日(水)～6日(木)
場所 ホテルグランドティアラ南名古屋
(愛知県)

第71回

三重県身体障害者福祉大会

日時 令和7年11月29日(土)
式典 10:30～11:30(受付9:30から)
郷土芸能 11:30～12:00
場所 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿(鈴鹿市文化会館)

令和7年度 社会参加推進協議会団体 開催事業予定

開催日	団体名	場 所	テーマ・内容等
7/10(木)~21(月)・(祝)	三重県障害者団体連合会	パラミタミュージアム (菰野町)	令和6年度三重県障がい者芸術文化祭受賞作品展
7/27(日)	三重県障害者団体連合会	玉城町保健福祉会館	青年活性化対策事業 (カラオケの集い)
8/2(土)	三重県障害者団体連合会	ワークプレイス菜 (名張市)	芸術文化活動支援に関する研修会「その場にいる人と、その場にあるものを活かす仕事づくり」
8/20(水)	三重県障害者団体連合会	県営鈴鹿スポーツガーデン	カローリング教室
9/8(月)~9(火)	三重県障害者団体連合会	ヒルホテルサンピア伊賀	三重県障がい者ふれあい交流会
9/28(日)	三重県障害者団体連合会	三重中央自動車学校	自動車安全運転競技会
10/4(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	第28回三重県障がい者スポーツ大会 「陸上競技」
10/7(火)	三重県障害者団体連合会	三重県文化会館 小ホール	三重県障がい者相談員等研修会
10/19(日)	三重県障害者団体連合会	津グランドボウル	ボウリング教室
10/21(火)~26(日)	三重県障害者団体連合会	シンフォニアテクノロジー 響ホール 伊勢	三重県障がい者芸術文化祭 受賞作品展 (伊勢市美術展覧会)
11/2(日)	三重県障害者団体連合会	三重県身体障害者総合福祉センターグラウンド	グラウンドゴルフ教室
11/5(水)~6(木)	三重県障害者団体連合会	ホテルグランドティアラ 南名古屋 (愛知県)	第27回日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会
11/7(金)	三重県障害者団体連合会	陸上自衛隊久居駐屯地	生活安全啓発事業 (防災研修)
11/8(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 体育館	第28回三重県障がい者スポーツ大会 「バレーボール (精神障害の部)」
11/14(金)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者 総合福祉センター	みえ福祉用具フォーラム2025
11/29(土)	三重県障害者団体連合会	ハヤシユナイテッド 文化ホール鈴鹿 (鈴鹿市文化会館)	第71回三重県身体障害者福祉大会
11/29(土)・30(日)	三重県身体障害者総合福祉センター	津グランドボウル	第28回三重県障がい者スポーツ大会 「ボウリング」
12/12(金)~14(日)	三重県障害者団体連合会	三重県総合文化センター	令和7年度 三重県障がい者芸術文化祭 作品展
12/23(火)	三重県障害者団体連合会	三重県庁講堂	こころのバリアフリーセミナー
1/25(日)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者 総合福祉センター	第28回三重県障がい者スポーツ大会 「卓球 (サウンドテーブルテニス)」
1/29(木)~2/1(日)	三重県障害者団体連合会	ハヤシユナイテッド 文化ホール鈴鹿 (鈴鹿市文化会館)	みえアールブリュット2026 鈴鹿会場 (作品展)
1/31(土)	三重県障害者団体連合会	ハヤシユナイテッド 文化ホール鈴鹿 (鈴鹿市文化会館)	令和7年度 三重県障がい者芸術文化祭 ステージ発表
2/7(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者 総合福祉センター	第28回三重県障がい者スポーツ大会 「卓球 (一般卓球)」
2/14(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者 総合福祉センター	第28回三重県障がい者スポーツ大会 「ボッチャ」
2/19(木)~22(日)	三重県障害者団体連合会	志摩市阿児アリーナ	みえアールブリュット2026 志摩会場 (作品展)
2/24(火)~27(金)	三重県障害者団体連合会	三重県庁 県民ホール	令和7年度三重県障がい者芸術文化祭受賞 作品展
10/26(日)・2/22(日)	三重県障害者団体連合会	三重県身体障害者 総合福祉センター	出会い支援事業 (結婚相談)

芸術文化活動支援に関する研修会

「その場にいる人と、その場にあるものを活かす仕事づくり」

日時：令和7年8月2日(土) 13:30～15:00

場所：ワークプレイス葉(名張市)

講師：デザイナー 藪内 都 氏



詳細・申込はこちら



三重県障がい者芸術文化祭受賞作品展 (R6年度作品)

日時：令和7年7月10日(木)～21日(月・祝) 9:30～17:30(入場17:00まで)

場所：パラミタミュージアム 1階小ギャラリー

入場無料/会期中無休

※小ギャラリー以外の入館は入館料が必要です。 障害者手帳をお持ちの方は無料です。

みえアールブリュット 2026

～ 三重のたからもの～



三重県障がい者芸術文化祭受賞作品及び、三重で活躍している作家の作品展示
開催日及び場所

①令和8年1月29日(木)～2月1日(日)

ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿(鈴鹿市文化会館)(鈴鹿市飯野寺家町 810)

②令和8年2月19日(木)～22日(日)

志摩市阿児アリーナ(志摩市阿児町神明 1074 番地 14)

三重県障がい者相談員等研修会開催

目的

障がい者の社会参加と自立促進を目指すなかで、障害者相談員等が一堂に会し、障がい者の人権や最近の諸問題などの情報提供を行い、地域で生活している障がい者を支援するため、相談対応能力の向上と相談員間の連携を図る。

日時

令和7年10月7日(火)

受付 12時30分 開会 13時00分 閉会 15時30分

会場

三重県総合文化センター

文化会館棟 小ホール

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

参加者

- ①身体・知的・精神障害者相談員
- ②県、市町、市町社会福祉協議会等の相談業務担当職員等
- ③各市町障害者団体の長、保護者、家族会等の長
- ④障がい者、支援者等

参加人員 150名

研修内容

- ①講演 「合理的配慮の提供と事例発表」
講師 三重県・子ども福祉部障がい福祉課 社会参加班 障がい者差別解消啓発推進員 東 昭宏 氏
- ②講演 「成年後見人としての実際をふまえた成年後見制度の概要」
講師 三重県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあみえ 副運営委員長 杉田 宏 氏
- ③人権研修 考えよう、私たちにできること
～「子どもの権利(人権)」を守るために～
講師 公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 研究員 荻田 実樹 氏

参加申込

参加申込書に必要事項を記入のうえ事務局へ直接郵送又はFAX、メール送信

申込期限

令和7年9月5日(金)(期限厳守)

事務局 公益社団法人 三重県障害者団体連合会

〒514-0113津市一身田大古曾670-2(三重県身体障害者総合福祉センター内)

TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp